



田中丸 航海日誌



平成25年6月2日 熱海ワイズメンズクラブ会長 田中 秀宝

一年は早いもので、いよいよ会長としての役目が終了する。会長としての準備段階で、まずは、役員人事に取り掛かり、A副会長・B副会長・書記・会計・委員長とスムーズに、役員が決定する。事業計画も承認されて初例会も盛大に開催し、無事に出航することができました。会長としての職務はまず、他クラブの初例会訪問。メンバーの方々も忙しい中、私にお付き合いして頂き、対外的な役目を果たし、親交を深めることができました。ほっとするのつつかのま、メイン事業のサマーキャンプ。心配された天候も、どうにかもち自衛隊駒門駐屯地を見学など、子供たちには、夏の良い思い出を残すことが出来ました。秋のドッチボール大会では、場所の確保で二転三転しましたが、どうにか開催する運びとなり、多くのメネットの協力により、好評のカレーライスも提供しながら、白熱した大会となりました。そして折り返しのクリスマス家族会、私は解散総選挙日と重なり、最後まで居れなかったのが残念であったが、その日は久しぶりに歓喜した夜であった。『橋本幹事ごめんなさい』年が明けて、年賀はがきコンテスト、この事業も今では、ワイズメンズクラブの定番となり、昨年よりもかなりレベルの高い作品が集まり、ここに応募してくれた子供たちから、著名な芸術家が輩出されることを期待したいものです。続いて定番の

スキー教室。滑れる子も滑れない子もいる中で、いつも、思うことは子供たちの可能性は無限大であり、子供たちの可能性をワイズ事業を通して、引き出してあげたいと痛感するものです。4月には、池田直前会長を団長に、台中クラブの訪問。熱烈な歓迎を受け、改めて、先輩方のつながりの深さと、おもてなしの精神を学ばされる。現在、最後の事業であるありがとうをテーマにした作文の募集を実施しているが、各学校や、知人からは、好意的に見ていただいている事業であり、ぜひ違う形でもよいので、継続されることを望みたい。一年は本当にあっという間で、この紙面では書ききれないが、ワイズ活動を通して、さまざまな学びと、人の温かみを感じた一年でありました。そして、人は何をやるにしても一人ではできず、皆の支えで成り立っていることを今更ながら実感しました。ワイズ歴を振り返り、今年度も大事なメンバーが、旅立ち、また、帰港を祝ってもらったかった大事な二人が居ないのが残念ではありますが、ワイズを愛して止まらなかったメンバーの分までこれからも、ワイズ活動に力を注いでいきたいと思います。そして、一年、私を支えていただいた役員の皆様、メンバーの皆様、無事に港に帰ることが出来そうです。心より感謝申し上げます。本当に本当にありがとうございました。

7月初例会



8月納涼例会



慰労激励会



ワイワイ談話



クリスマス家族会



英語スピーチコンテスト



市民安全大会パレード



赤い羽根共同募金



橋洗い



新年初顔合わせ



台中クラブ訪問

